

こんなとき、みなさんのちょっとした手助けが必要です

災害が発生したら



こんなことに困ります

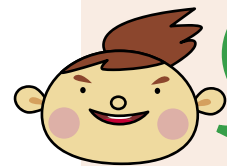
- 危険の察知が苦手だったり、パニックで動けなくなる人もいます。
- エレベーターが使えないと移動が困難になる人、混雑の中で移動すると危険な人がいます。
- 通常の手段では的確な情報を得ることが困難な人がいます。

こんな手助けをお願いします

- 落ち着けるように具体的にゆっくり話して状況を教えてください。緊急時には、とにかく安全確保を優先して緊急連絡先に連絡をお願いします。
- 安全に避難するための支援をお願いします。その際、どのように誘導して欲しいかを確認してください。
- 例えば、聴覚障害者には、文字などにより必要な情報を知らせてください。視覚障害者には、読み上げるなど必要な情報を教えてください。



避難場所などで 一緒になったときは



こんなことに困ります

- 通常と異なる環境で不安定になったり、大きな声や音、まぶしい光が苦手な人もいます。
- 移動の際に支援や配慮が必要な人がいます。
- 困っていることをうまく伝えられない人がいます。
- 必要な薬が手に入らない人、例えば腎臓病でバナナに多いカリウムの制限など、食事の管理が必要な人がいます。
- 必要な情報や物資が受け取れない人がいます。

こんな手助けをお願いします

- 自分を落ち着かせるための行動であることもありますので、見守ってください。落ち着かないときは、静かなスペースを確保してください。
- 車椅子が通れる幅(最低90cm)を確保したり、視覚障害者にも配慮して通路に物を置かないでください。トイレ等への移動に手助けをお願いします。
- 「何かお手伝いすることがありますか？」と声をかけてください。
- 医療的に配慮が必要な人、一般的な非常食が食べられない人への理解と配慮をお願いします。
- 例えば、聴覚障害者には文字などにより必要な情報を知らせたり、視覚障害者には読み上げるなど必要な情報を教えてください。また、家族がいても本人のそばを離れて並んだりできない人への配慮をお願いします。

